

メッセージ

「原水爆禁止 2020 年世界大会」にご参加の皆様、メッセージを申し上げます。

はじめに、原水爆禁止 2020 年世界大会の開催にあたり、新型コロナウイルス感染症対策の実践にご協力いただき、感謝を申し上げます。

今年は、広島、長崎の被爆から 75 年目となりますが、人類の生存に深刻な脅威を与える核兵器の廃絶は、いまだ大変困難な道のりであります。我が国は世界で唯一の戦争被ばく国として、国際社会の先頭に立ち、核兵器の悲惨さと平和の尊さを次世代に伝え、訴え続けていくことが重要であります。

また、私たち一人ひとりが強い意志をもって、核兵器のない平和で安全な国際社会の実現を希求し続けることが何より大切であります。

本市としましても、1982 年に大阪府内の各自治体に先駆けて「非核平和都市」を宣言し、核兵器のない、戦争のない平和な世界の実現に向けて、市民の皆様とともに恒久平和をめざす取り組みを進めてまいります。

原水爆禁止 2020 年世界大会にご参加の皆様が無事全日程を終えられ、その訴えが広く世界に発信されることを願ひまして、メッセージとさせていただきます。

2020 年 8 月

枚方市長 伏見 隆

メッセージ

核兵器のない平和で公正な世界の実現を目指し、草の根レベルでの国際的な共同を発展させ、大きな世論を築く大会として開催されている「原水爆禁止2020年世界大会」のご盛会を心からお祝い申し上げます。

今年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、オンラインでの開催を呼びかけるなど、困難な状況においても、より力強く核兵器廃絶を訴えかけておられる姿勢に深い感銘を受けております。

さて、昭和20年8月に広島、長崎に原爆が投下されてから、今年で75年という長い歳月が経過しようとしています。原爆により一瞬にして数多くの尊い命が奪われ、今なお、被爆による後遺症に苦しめられている方々のことを思いますと、胸が締め付けられる思いがいたします。

核兵器のない平和な世界の実現は全人類共通の願いであります。しかしながら、こうした願いに対し、昨年の中距離核戦力全廃条約の失効や、アメリカとイランとの対立などを背景として、世界終末時計は今年になり「100秒前」と史上最短となるなど、世界の核兵器をめぐる問題は、危機的な状況にございます。

本市におきましては、昭和58年に「非核平和都市宣言」を行い、この間、平和と人権を市政の重要な柱の一つとして位置づけ、市民一人ひとりが平和を愛し、悲惨な戦争が二度と繰り返されることのないよう、市民の皆様方と共に「平和展」をはじめとする様々な施策に取り組んでまいりました。

また、全国規模で組織いたします「日本非核宣言自治体協議会」及び「平和首長会議」に加盟し、他の都市と連携しながら、平和への取組を進めております。

今後とも、他の都市との連携を更に深めながら、世界恒久平和の実現に向けまして、市民の皆様と共に平和の大切さをより一層訴えてまいり所存でございます。

結びとなりますが、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と皆様方のご健勝を祈念申し上げ、私のメッセージとさせていただきます。

令和2年8月

高槻市長 濱田 剛史

原水爆禁止2020年世界大会に対するメッセージ

新型コロナウイルスの脅威が私たちにあらためて命の尊さと安全について問いかけているなか、「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界のために-人類と地球の未来のために」をテーマに、原水爆禁止2020年世界大会がオンラインで開催されることは誠に意義深いものであります。貴委員会がこれまで以上に被爆の実相と核兵器の非人道性を世界に発信し、核兵器のない世界の実現に向けた運動に力強く取り組まれるご努力に深く敬意を表します。

高石市では、日本国憲法に掲げる恒久平和主義の理念を、高石市民生活の中に、はぐくみ継承させていくことが、地方自治の基本条件の一つとしております。

核兵器を無くしていくという最終目標を目指して、誠実に忍耐強い対応を続けることが重要であると考えます。

原水爆禁止2020年世界大会のご盛会を心から祈念いたします。

原水爆禁止世界大会実行委員会 様

2020年8月

非核平和宣言都市

高石市長 阪口伸六

メッセージ

原水爆禁止2020年世界大会にご参加ならびにご支援の皆様、また、平和を願って展開されます活動に対し、心から敬意を表する次第でございます。

さて、広島、長崎への原爆投下から75年を迎え、戦争の悲惨さや核兵器の恐怖を体感なされた人々の高齢化が進み、戦争を知らない世代が多数を占めるようになってまいりました。

今、私たちに課された使命は、いつの時代にも被爆の惨禍を繰り返さないため、過去に経験した痛ましい教訓を語り継ぐことでもあります。

この認識を胸に、本市では、あらゆる国の戦争と核兵器の廃絶を求め、そして、平和な社会の築きを希求し、1984年に非核平和都市を宣言、2010年には平和市長会議に加盟をいたしました。

この意向と事績を形にすべく、本市独自に従前から平和事業を継続的に実施しており、今年は8月8日から16日にかけて、市民総合センターにおいて、「語り継ごう平和の大切さ」をテーマとする平和・人権展を開催いたします。

今後とも核兵器の廃絶と恒久平和に向けた活動を立ち止まらずに実践してまいりますので、皆様におかれましては、これまでに増すご支援、ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

結びに、原水爆禁止2020年世界大会に参加されました、皆様の熱意に重ねて敬意を表しますとともに大会の成功を祈念いたしまして、私のメッセージとさせていただきます。

2020年7月10日

四條畷市長 東 修平

メッセージ

原水爆禁止二〇二〇年世界大会の御盛会、誠におめでとうございます。心からお祝いとお慶びを申し上げます。

平素より、皆様方におかれましては、核兵器のない平和な世界の実現に向け、多大なる御尽力をいただいておりますことに対し、心から敬意を表する次第でございます。

始めに、新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、今般の世界的な危機において、昼夜を問わず対応されている医療関係者の皆様にご心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、今年是我が国にとって決して忘れることのできない広島・長崎への原爆投下から七十五年、また、国際的な核軍縮の基盤である「核拡散防止条約（NPT）」の発効から五十年、無期限延長の決定から二十五年という節目の年であります。

しかしながら、NPTの発効から半世紀が経過し、その間、核戦争は起きなかったものの、核保有国が増加するなど、依然として国際社会の平和と安全への脅威が続いております。

そのような中、私たちは、世界で唯一の被爆国として、広島・長崎の悲劇を繰り返してはならないとの固い決意のもと、真の平和を実現すべく、戦争の苦しみと悲しみを世界に向け、訴え続けていかなければなりません。

本市といたしましても、核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向け、幅広い世代の皆様にご命の尊さを語り継ぐとともに、平和意識の高揚を図る取組を積極的に推進してまいり所存でございます。

結びになりましたが、原水爆禁止二〇二〇年世界大会が成功裏に終えられますとともに、皆様方の訴えが世界へと響くことを祈念いたしまして、私のメッセージといたします。

メ ッ セ ー ジ

「原水爆禁止 2020 年世界大会」のご開催を心からお喜び申し上げるとともに、日頃から、核兵器の廃絶と世界平和の実現をめざし、活動しておられる皆様方のご努力に、心から敬意を表します。

戦争や紛争のない平和な世界を実現することは、人類共通の願いです。世界では今なお、各国の考え方の違いが顕在化し、核実験やテロ、紛争などの脅威が見られます。我が国は、世界で唯一の戦争被爆国として、二度とあの広島・長崎の惨禍を繰り返させないために、核兵器の廃絶と恒久平和の実現を強く訴え続けていかなければなりません。

戦争を体験した方が年々少なくなっていく中で、核兵器の恐ろしさや戦争の悲惨さを風化させず次世代に語り継いでいくことが、核兵器を廃絶し、平和を守っていくための私たちの責務であります。

さて、本市では、昭和 58 年（1983 年）8 月に「非核平和都市宣言」を行い、今年で 37 年目を迎えます。その宣言のもと、これまで府内でも例の少ない平和祈念資料館の運営などに取り組み、戦争の悲惨さや平和の尊さを広く市民に伝えてまいりました。引き続き、啓発事業に取り組むとともに「非核、平和のまちづくり」を進めてまいります。

結びに、「原水爆禁止 2020 年世界大会」のご成功と、関係者の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げますとともに、皆様のご活動により、平和の尊さについて、多くの人々が改めて認識するきっかけとなりますことを願い、メッセージといたします。

令和 2 年（2020 年）7 月 22 日

吹田市長 後藤 圭二



メッセージ

世界的に猛威をふるった新型コロナウイルス感染症により、これまで外出自粛や休業要請等にご理解ご協力いただいた市民並びに事業者の皆様、また、感染リスクと向き合いながら懸命に治療に当たっていただいております医療従事者をはじめ、市民生活ライフラインをお支えいただくため、事業継続を求められていた食品販売、流通、福祉等の各分野すべての皆様に心より感謝申し上げます。

さて、「被爆者とともに核兵器のない平和で公正な世界のために」をテーマに「原水爆禁止2020年世界大会」（オンライン）を開催されますことに対し、深く敬意を表します。

広島、長崎に原爆が投下されてから、間もなく75年という節目を迎えようとしております。我が国は、世界唯一の被爆国として、その甚大な被害、被爆者の苦しみを後世に語り継ぎ、その悲劇が二度と繰り返されることがないように、「核兵器のない、戦争のない世界」の実現に向け、世界に核兵器の恐ろしさを発信し続けなければなりません。

本市におきましても、昭和58（1983）年に「非核平和都市」となることを宣言し、平和な社会を実現するため、様々な平和啓発活動を推進してまいりました。

今後も、核兵器の廃絶と恒久平和の実現をめざし、非核・平和のまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

結びに、原水爆禁止世界大会実行委員会のご活動の更なる充実と本日ご参加の皆様のご活躍とご多幸をお祈りいたしましてメッセージといたします。

令和2（2020）年8月2日

門真市長 宮本 一孝

メッセージ

「原水爆禁止 2020 年世界大会」の開催に際して、核兵器廃絶と平和な社会の実現を目指して活動されている皆様方の平和を愛する心と熱意に深く敬意を表します。

核兵器は、その破壊力、殺傷力、後遺症だけではなく、被爆者の次世代の人々にも影響を与える恐ろしい兵器です。しかしながら核兵器や武力を用いて、紛争を解決しようとする国は未だ存在し、わが国では戦後 75 年が経過し戦争を体験された方や被爆者の高齢化にともない戦争や被爆の経験の継承が難しくなってきております。核兵器の恐ろしさと平和の大切さを市民一人ひとりが再認識し、人類共通の願いである核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現を強く訴えていくことが必要であります。広島デー・長崎デーを設け、両被爆地から「原水爆禁止 2020 年世界大会」で平和を訴えていかれることは、大変有意義なことと存じます。

本市におきましても、昭和 60 年に世界平和の実現と豊かで明るい住みよい社会の建設を決意して「平和都市宣言」を行い、さらに 2010 年には「平和首長会議」に加盟するとともに、平和な社会の実現をめざして「柏原市平和展」などの施策を展開し、戦争の悲惨さ、平和の尊さを多くの方々に訴えております。

本日参加されているすべての皆様とともに、世界の恒久平和を願いまして、この「原水爆禁止 2020 年世界大会」が成功裡に終わられますことを祈念して寄せる言葉といたします。

2020 年 8 月 2 日

柏原市長 富宅 正浩

メッセージ

原水爆禁止2020年世界大会の開催に際しまして、永年にわたる核兵器廃絶と世界平和の実現を目指した皆様方の取り組みに対し、心から敬意を表する次第でございます。

さて、世界中の人々の暮らしや生命は、新型コロナウイルス感染症により危機に追いやられ、それらに伴う偏見や差別が蔓延し、世界の国々では自国第一主義や排他主義が台頭するなど、世界の平和や安全をめぐる情勢は危機的な状況となっております。

このことから、被爆75周年という節目の年を迎えるにあたり、核兵器のない世界の実現と安全で活力のある都市の実現を目指すための取り組みが、これまで以上に強く求められていると認識しております。

本市といたしましても、皆様方や、本市が加盟いたします平和首長会議の取り組みとも連帯し、この危機的な状況から、全ての人々が平和と安心を身近に感じて暮らすことができる世界を実現できるよう、取り組んでまいります。

最後に、この式典が厳粛な中に、滞りなく挙行されますとともに、皆様方の今後のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、私のメッセージとさせていただきます。

令和2年7月6日

藤井寺市長 岡田 一樹

「原水爆禁止 2020 年世界大会」へのメッセージ

「原水爆禁止 2020 年世界大会」が開催されることにつきまして、一言、ご挨拶申し上げます。

広島、長崎の被爆から 75 年、「核兵器のない平和で公正な世界のために」をテーマに、今年も「原水爆禁止 2020 年世界大会」が開催されますことは大変意義深いことであり、平和運動に取り組んでおられることに深く敬意を表する次第でございます。

本市では、紛争のない恒久平和の世界を願って、1985 年 11 月に非核「平和都市宣言」を行い、その趣旨に基づき、「平和のつどい」などを開催し、市内各庁舎に呼びかけ「平和黙祷」も実施しております。これらの平和事業に市民と協働で取り組み、平和の尊さ、命の大切さを広く市民に訴えていくこととしております。

核兵器のない世界を実現することは、本市市民をはじめ国際社会の願いであり、今後も平和の重要性を訴えてまいりたい決意であります。

最後に、この「原水爆禁止 2020 年世界大会」が成功裡に終わり、一日も早く平和な時が訪れることを祈念いたしまして、私のメッセージといたします。

2020年8月

東大阪市長 野田 義和



大東戦略広第209号
【陳情第32号】
令和2年7月22日

原水爆禁止世界大会実行委員会 様

大東市長 東坂 浩



要望書について (回答)

平素は本市行政にご協力いただきありがとうございます。2020年6月付けでご要望のありました件について、下記のとおり回答いたします。

記

「原水爆禁止2020年世界大会 (オンライン)」へのメッセージ

原水爆禁止2020年世界大会に参加の皆様におかれましては、核兵器の廃絶と戦争のない平和な世界の実現に向けた活動を長年にわたりすすめておられますことに心から敬意を表します。

今年は広島・長崎に原子爆弾が投下されて75年が経過し、戦争体験者や被爆者の高齢化がすすむ一方、戦争を知らない世代が大きな割合を占めるようになってきました。

私たちは原子爆弾による世界最初の被爆国の国民として、全人類が戦争の恐怖と経済的欠乏を免れ、平和のうちに生存する権利のためにあらゆる国の戦争と核兵器の廃絶を強く訴えていかなければなりません。

恒久の平和と安全は人類共通の願いです。

本市は1983年9月に「非核平和都市宣言」を行い、1996年5月に日本非核宣言自治体協議会、2010年9月には平和首長会議に加入し、これまで市民とともに非核平和事業を推進してまいりました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策により事業の一部を中止としておりますが、今後も引き続き、戦争の悲惨さや平和の尊さを広く訴える非核平和事業を推進してまいります。

最後になりましたが、大会のご成功を心から祈念いたしまして、メッセージとさせていただきます。

2020年7月22日

大東市長 東坂 浩一

【問い合わせ先】

市民生活部 人権室

TEL 072-870-0441

祝

メッセージ

原水爆禁止2020年世界大会の
ご盛会を心からお慶び申し上げます
「核兵器のない平和で公正な世界の
ために」のテーマのもと貴実行委員会
の皆様は今後ますますのご活躍を
お祈りいたします

令和2年 8月 2日

大阪狭山市長 古川照人

メッセージ

核兵器廃絶など、一人ひとりの平和を望む声
がさらに大ききな輪となり世界へ届き、すべての
平和への祈りが未来へと受け継がれることを心
よりお祈りいたします。

大阪府泉南市長 たけなか 竹中 いさと 勇人

祝

原水爆禁止 2020 年世界大会が開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

核兵器のない平和な世界を実現するため、世界で唯一の核兵器による被爆国に暮らす私達は、核兵器の悲惨さを後世に語り継ぎ、広島・長崎の惨禍が絶対に繰り返されることのないよう、強くアピールし続ける使命があります。

本市におきまして、昭和 58 年に「憲法を守り人間を尊重する平和都市」を宣言し、誰もが安全・安心を実感できる、平和な社会づくりを全力で進めているところです。

本日からの世界大会を契機として、核兵器のない真に平和な世界が早期に実現されることを心から祈念いたしますとともに、ご参加皆様方のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

令和 2 年 8 月 2 日

大阪府摂津市長 森山一正

今年も「原水爆禁止二〇二〇年世界大会」が開催されますことは、核兵器のない平和で公正な世界のために大変意義深いことであり、コロナ禍においても、本大会を開催するためにご尽力されました実行委員会の皆様には、深く敬意を表します。

世界平和は人類共通の願いです。

地球上から紛争が途絶え、核兵器がなくなることを願ってやみません。

本大会において、唯一の被爆国である我が国が、被爆の実相や核兵器の非人道性を世界に発信することは、「核兵器のない世界」の実現に大きく寄与するものと確信しております。

本市は、昭和五十九年に「非核平和都市」を宣言しており、今後におきましても、様々な啓発活動により平和の重要性を訴えてまいります。

結びに、本大会のご成功と、皆様のご健勝ならびにご多幸をお祈りいたしまして、メッセージとさせていただきます。

令和二年八月

大阪府阪南市長

みずのけんじ

水野謙二

メッセージ

広島と長崎に原爆が投下されてから75年を迎えようとしています。

月日の経過とともに、戦争体験者の高齢化が進み、被爆・戦争の悲惨さを継承していくことが困難となってきております。しかし、今を生きる私たちは、世界で唯一の被爆国として「核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ」を、次世代へ語り継いでいく使命があります。

交野市では、核兵器を持たない、戦争のない、平和で安心して暮らせる社会の実現を目指し、1983年に非核平和都市を宣言、2001年には平和と人権を守る都市宣言を行いました。これらの宣言は、わたしたち交野市民一人ひとりの平和への強い願いであります。

さらに2010年には、核兵器のない平和な世界を実現するため、世界の都市と連携して国際社会にアピールする「平和首長会議」に加盟し、併せてヒロシマ・ナガサキ議定書への賛同署名もいたしました。

こうした強い願いにも関わらず、世界では未だに核兵器が存在し、近年の国際情勢においても平和を脅かす事態が発生していることは大変遺憾なことでございます。

世界で唯一の被爆国として、人類永遠の平和を願い、同じ悲劇が二度と繰り返されることのないよう、私たちは、次世代を生きる子ども達のためにも、人類の共通の願いである反核・平和の実現に向けて国際社会に強くアピールしていく所存でございます。

「原水爆禁止2020年世界大会」の成功に向けての皆様方のご活躍に心から敬意を表しますとともに、非核・平和の輪が全世界に広がることを祈念いたしまして、わたくしのメッセージといたします。

2020年8月

交野市長 黒田 実

原水爆禁止二〇二〇年世界大会をオンラインで開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

核兵器の廃絶と戦争のない平和な世界を希求する皆様のご活動に敬意を表するとともに、今後益々のご発展をご祈念申し上げます。

貝塚市長 藤原 龍男

メッセージ

「原水爆禁止 2020 年世界大会」の開催に際しまして、メッセージをお送り致します。

貴会におかれましては、核兵器の廃絶と世界平和の実現に向けて、熱心に取り組んでおられることに、心より敬意を表します。

本市では、昭和59年に決議した「非核平和都市宣言」のもと、政府に対し非核三原則の厳守を求めるとともに、あらゆる国のあらゆる核兵器を拒否し、全世界に核兵器の廃絶を強く訴えてまいりました。

世界で唯一の被爆国として、また、非核平和都市として、「核兵器のない世界」の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

結びに、本大会の成功とご参加の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

令和2年7月吉日

河内長野市長

島田 智明

メッセージ

『原水爆禁止2020年世界大会(オンライン)』の開催、誠におめでとうございます。

皆様方が、核兵器の廃絶と世界平和の実現に向けて、平和活動に取り組むことは大変意義のあることであり、その熱意と努力に心から敬意を表します。

恒久平和の実現は、人類共通の願いであります。

本年は、広島・長崎への原爆投下から75年の節目に当たり、世界で唯一の被爆国である我が国は、世界に向けて核兵器廃絶や恒久平和の実現をめざして、今後とも取り組む責務があります。

本町におきましても、核兵器の廃絶と恒久平和の実現を希求する立場から、昭和62年に議会決議により「核兵器廃絶・平和都市」を宣言し、各国の核実験が発覚次第、直ちに文書で厳重に抗議を行っております。

そうした小さな行動ではありますが、地道な行動の積み重ねが「平和」への願いに繋がっていくものと信じ、21世紀が真に「平和と人権の世紀」となりますよう、人権文化の創造を目指してまいります。

この「原水爆禁止世界大会」が一つの契機となり、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現のための運動が、全国へさらには世界へと大きく広がることを念願いたしますとともに、皆様方の今後のご活躍とご健勝を祈念いたしましてメッセージとさせていただきます。

令和2年8月2日

島本町長 山田 紘平

原水爆禁止世界大会実行委員会 様

人類と地球の未来のために、核兵器のない
平和で公正な世界となることを心から願うと
ともに、原水爆禁止2020年世界大会の成
功を心よりお祈りいたします

2020年8月

大阪府泉南郡岬町長 田代

